



RCR STD-31

# 空中線電力1mW以下の陸上移動業務の 無線局（作業連絡用）の無線設備

VOICE COMMUNICATION RADIO EQUIPMENT  
OF A BUSINESS ACTIVITY  
(1mW AND LESS CONDUCTED POWER)  
FOR LAND MOBILE RADIO STATION

## 標 準 規 格

ARIB STANDARD

RCR STD-31 3.1版

平成 4年 7月31日	策 定
平成 6年 2月28日	1. 1改定
平成11年 2月 2日	2. 0改定
平成13年 5月31日	3. 0改定
平成17年11月30日	3. 1改定

社団法人 電 波 産 業 会

Association of Radio Industries and Businesses



## ま え が き

社団法人電波産業会は、無線機器製造者及び利用者の参加を得て、各種の電波利用システムに関する無線設備の標準的な仕様等の基本的な技術的条件を「標準規格」として策定している。

標準規格は、周波数の有効利用及び他の利用者との混信の回避を図る目的から定められる国の技術基準と、併せて無線設備の適正品質、互換性の確保等、無線機器製造者及び利用者の利便を図る目的から策定される民間の任意基準をとりまとめて策定される民間の規格である。

本標準規格は、「空中線電力 1mW 以下の陸上移動業務の無線局（作業連絡用）の無線設備」について策定されたもので、策定段階における公正性及び透明性を確保するため、内外無差別に広く無線機器製造者、利用者等利害関係者の参加を得た当会の規格会議の総意により策定されたものである。

本標準規格が、無線機器製造者、利用者等に積極的に活用されることを希望する。



## 目 次

## まえがき

第 1 章 一般事項 .....	1
1.1 概要 .....	1
1.2 適用範囲 .....	1
1.3 準拠文書 .....	1
第 2 章 標準システム .....	2
2.1 システムの標準モデル .....	2
第 3 章 無線設備の技術的条件 .....	10
3.1 一般条件 .....	10
(1) 無線局の種別 .....	10
(2) 通信方式 .....	10
(3) 通信の内容 .....	10
(4) チャンネル間隔 .....	10
(5) 電波型式 .....	10
(6) 使用周波数 .....	10
(7) 周波数切替方式 .....	10
(8) 使用環境条件 .....	10
3.2 送信装置 .....	10
(1) 空中線電力 .....	10
(2) 空中線電力の許容偏差 .....	10
(3) 発振方式 .....	11
(4) 周波数の許容偏差 .....	11
(5) 変調方式 .....	11
(6) 変調周波数 .....	11
(7) 隣接チャンネル漏えい電力 .....	11
(8) 占有周波数帯幅の許容値 .....	11
(9) スプリアス発射又は不要発射の強度の許容値 .....	11
(10) 周波数偏移 .....	12
(11) 総合歪及び雑音 .....	12
3.3 受信装置 .....	12

(1) 基準感度 .....	12
(2) 実効選択度におけるスプリアス・レスポンス .....	13
(3) 実効選択度における隣接チャネル選択度 .....	13
(4) 実効選択度における相互変調特性 .....	13
(5) 局部発振器の周波数変動 .....	13
(6) 総合歪み及び雑音 .....	13
(7) 副次的に発する電波等の限度 .....	13
3.4 制御装置 .....	13
3.4.1 選択呼出装置 .....	13
3.4.2 キャリアセンス .....	14
3.4.3 送信時間制限装置 .....	15
3.4.4 回線接続手順 .....	15
3.5 回線補償装置 .....	15
3.6 混合分配装置 .....	15
3.7 空中線 .....	15
(1) 空中線の構造 .....	15
(2) 空中線の利得 .....	15
3.8 その他 .....	16
(1) 筐体 .....	16
(2) 技術基準適合証明に係る表示 .....	16
第4章 測定法 .....	17
参考 特定無線設備の技術基準適合証明に係る試験項目 .....	18

改定履歴表